

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

集中治療室から

コンニチワ

ICU・HCU 医長
佐久田 豊「22年(令和4年)熱中症患者さん
既に救急搬送されています」

昨年4月1日ビニールハウスで農作業中の80代男性2人がⅢ度熱中症で搬送されたと沖縄県ホームページで注意喚起されています。Ⅲ度熱中症とは体の水分が足りないために正常な生命活動が維持できないようになり、意識が無くなつて体全体の組織が壊れしていく状態です。自分で水が飲めない重篤な状況が来院後も続くため集中治療室で治療を行います。今年も既に当院へ救急搬送されています。これから急に暑い日となつたりしますので、全年齢の方に気を付けていただきたい病態です。

熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の方です。高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対する体の調整機能も低下しているので注意が必要です。子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので気を配る必要があります。クーラーの効いた車中で熱中症になっている子どもさんの報道もお聞きになっていると思います。のどの渇きを感じていなくても、こまめに水分補給する必要がありますし、熱中症情報に気をつけること、時間をはかけて農作業や労働、炎天下の遊びに休憩時間を入れるよう心掛けさせていただきます。

熱中症が疑われる人を見かけたら救急車を呼んでエアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など涼しい場所へ避難させ、衣服をゆるめ、首の周り、脇の下、足の付け根などの体を冷やしてください。水分・塩分、スポーツドリンクなどを飲める方には飲んでもらってください。このときの注意事項は木陰などで休ませているから大丈夫と考えないでいただきたいことです。熱中症は交感神経が亢進して消化機能がうまく働かないことがあります。水を飲んでいても十分に体の中に吸収されず、体の中の循環血液量が枯渇(少なくなつて)して心臓から出る血液量が減り、体の表面から体の奥底にたまつた熱をうまく外に出せない状態が続き、お話をしていた方がお話をされなくなることがあります。若い方でもこうなつて重症熱中症で後遺症が残つたりしています。

自宅にいても、また夜間であつても悪化することがあります。是非皆さん気を付けるようお願いいたします。

病院の活動状況
<2022年4月度>

・外来一日平均患者数：329人（前年同月比 +33人）
・組合員利用分量(率)：51.9%（前年同月比 -1.3%）

・入院一日平均患者数：228人（前年同月比 -53人）

外科医の現状

ひよせ
184 外科より

外科部長
比嘉
聰

今後も各医師が研鑽を積み、組合員のみなさんに安心・安全な医療を提供していく所存ですのでご支援のほどよろしくお願いいたします。

鏡視下手術でも胃・大腸・肝臓・脾臓・胆のう・肺とほぼ全ての臓器で対応が可能で、特に消化器に関しては日本内視鏡外科学会の技術認定制度の技術認定を大腸・胃・胆のうの領域を三人で網羅できる体制の構築が出来ており、患者様に安心・安全な医療の提供ができると思います。学会へ実際の手術ビデオを提出し技術認定審査を受け、合格率は約二〇%と合格するのはかなり難しく、県内では大学病院と当院のみとなっています。

当院外科の特色としては鏡視下手術が多いことです。鏡視下手術とは、力メラを使って小さな創で手術を行うことです。

当院外科の特色としては鏡視下手術が多いです。鏡視下手術とは、力メラを使って小さな創で手術を行うことです。

組合員のみなさんこんにちは。外科医の比嘉です。当院の外科は乳腺・有鉻・屋良、呼吸器・永田、消化器.. 加藤・小野・比嘉の六人の医師で日々診療にあたっています。





風薫る古都の五月

— 首里城の復興の槌音が天空に響いて —

画・内科医 上原 和博

今月の1枚



沖縄民医連 - 沖縄協同病院 共催

県民の力を合わせて、
いのちを守る行動を！！



▶ 部署紹介

薬局には薬剤師22名、事務1名、薬局助手4名在籍しています。

院内には24時間、365日薬剤師が常駐し、お薬の準備、患者様への服薬指導、医薬品管理を行っています。また、他職種からの質



④薬局

問や、患者様の病状に対して、よりよい薬物療法になるよう提案を行い、各種チームの一員としての役割も担っています。若い薬剤師が多いので、日々進化していく医療情勢や、薬品に対しての学習を深めながら頑張っています。

薬局長 前里佐弥香

委員会活動報告 ④医療安全管理委員会

医療安全管理委員会は安全・安心な医療を提供するために毎月様々な活動を行っています。今回はご本人確認についてご紹介します。

当院ではご本人の確認を行う際にフルネームで名乗っていただいている。医療者と患者・家族様があ

互いに確認をすることでより安全なご本人確認が行えます。また、同姓同名の方もおられますので、生年月日や住所の確認をすることがあります。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

医療安全管理委員会事務 石垣駿介

お名前をおしえてください

安心して医療を受けていただくために

- ①お名前を名乗ってください
- ②同姓同名の誤認防止のため、生年月日や住所を確認することもあります。
- ③検査や処置などの内容も一緒に確認します。

ご協力よろしくお願いします。



去る復帰五十年シンポで防衛ジャーナリストの半田氏は「日本が台湾有事に巻き込まれるのは①米国が台湾有事に関わり沖縄本島から出撃すること。②安保関連法に基づき、自衛隊が米軍を支援し、中国の敵となつた時の二点が揃つた時だ」と言う。そして、それを避けるには「①中国に台湾有事に踏み切らせないこと。②米国が参戦しないこと。」だと

言うが、先日の日米首脳会談でバイデン大統領は「台湾有事に軍事的関与をする」と明言した。再び沖縄を戦場にしないことを日本政府がやるべきことは平和外交を駆使して戦争を回避することである。

ハルサー
金城 稲子

ハヤトウリ

見た目で敬遠される野菜がある。ハ

ヤトウリもその一つだ。今まで買物力に入ることはなかつたが、友人から二個実を貰つたので食べずに植えてみた。一月に実ごと土に埋めると三月からはぐんぐん伸びて今は写真のようにハウスのアーチを覆い、隣のゴーヤーの棚まで侵入しようとしている。成長が早い割に実が四個しか付いてない。調べてみたら、植えた時期が早かつたようだ。

ハヤトウリは熱帯アメリカが原産で最初に栽培された鹿児島の薩摩隼人から名付けられたといつ。一株から二百個以上の実が収穫できることから、千成瓜とも呼ばれるようだ。台湾では「佛手瓜」でこの方が覚えやすい。アメリカやフランスでは「ピュラー」な野菜だという。生育旺盛なハヤトウリがゴーヤー棚に侵入してくると元に戻したり、枝を切る。それでゴーヤーもぐんぐん伸びてくるが、手を抜くとたちまち巻き付かれて枯れてしまう。ワジワジーして侵入した枝を全部切つてしまふと今度は脇芽を伸ばして数倍の勢力で侵入してくる。まるでロシアのウクライナ侵攻のようだ。